第２６回市民自治推進委員会　都市調和部会会議録

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和２年２月７日（金）　１８：３０～１９：５０ |
| 開催場所 | 登別市役所本庁舎　第２委員会室 |
| 出席者 | (部 会 長)山下　克彦　（副部会長）谷﨑　博美  (部 会 員)西尾　拓也、冨永　史人  (庁内委員)相馬　裕一、佐藤　智  (事 務 局)大越　智輝 |
| 欠席者 | (部 会 員）荒川　昌伸、工藤　保秋  (事 務 局）今野　沙弥 |
| 議題 | 登別市本庁舎建設基本計画中間案について |

～登別市本庁舎建設基本計画中間案について、総務部総務グループ土門総括主幹から説明を行った。～

【今までの検討経緯について】

・平成29年10月～11月の地区懇談会において、公共施設の整備に向けた優先順位、市役所本庁舎建替え検討の基本的な考え方を情報提供し、建設の具体的な検討を始めた。

・平成30年３月、登別市本庁舎基本計画構想案を策定し、市民説明会やパブリックコメントを実施。ここでの意見を踏まえ、平成30年9月に登別市本庁舎建設基本構想を策定した。

・基本構想を基に、今年６月から登別市本庁舎建設基本計画の策定業務を開始。今年10～11月の地区懇談会等で中間案を報告した。

・令和２年２月14日からパブリックコメントを開始し、３月末に完成を予定している。

【具体的な検討の中身について】

・平成30年９月に策定した基本構想において、庁舎のまちづくり機能を発揮できて市民の利便性が高いこと、関係法令や各種計画に即した土地であること、原則市有地であることなどを比較した結果、将来の都市機能への影響度、災害対策の強化、交通誘導の改善などを考慮し、市民が来庁しやすい最善の場所として、建設場所を現庁舎敷地内とした。

・建設場所は津波浸水区域内に位置しているが、災害対策機能や非常用電源設備、備蓄倉庫を高層階に備えるなど、津波対策への配慮により対応が可能と考えている。

・現市役所庁舎敷地に既存の庁舎を残し、裏の第二庁舎を解体したあと、空いた敷地に新庁舎を建設することで、仮設の庁舎を設けず、事業費の抑制を図ることを考えている。

・利用者の利便性や周辺環境への配慮、コスト面などから考え、４階建てが最適だと考えている。計画地の津波浸水予測範囲が３～４ｍ未満となっており、最大の津波が来たときには１階が浸水してしまうが、災害避難機能や設備スペースを上階に設置することで、日常的な市民の利便性を確保しつつ、浸水被害をなるべく避けることを考えている。

・４階建てとした場合、冬至の夕方には大きく影が小学校にかかるが、学校の授業が終わる時間帯だと考えている。法律的なものは全てクリアした配置図となっている。

・建物の構造形式は、耐震構造、制震構造、免震構造の３つに区分される。耐震構造は、地震力に対して剛強な加工で抵抗する構造形式で、建物の揺れはあっても倒壊はしない。免震構造は、建物と基礎の間の免震部材により、地盤と切り離すことで主架構に伝わる地震力を低減する構造形式。制震構造は、建物内に配置したダンパーなどの制震部材により、地震の揺れを吸収する構造形式となっている。

・どの形式でも耐震、安全性は確保されるが、庁舎の規模、建設コスト、工期などから、一般的な耐震構造が最適と考えている。

・構造種別は主に鉄筋コンクリート造り、鉄骨鉄筋コンクリート造り、鉄骨造りという区分がある。実績が豊富であり、耐久性、耐火性に優れる鉄筋コンクリート造りを検討している。

・防災機能は、太陽光発電、電気自動車用の急速充電器、耐震性の高い貯水槽の設置、マンホールトイレ、非常用の防災便槽など、これからも導入すべき機能を検討する。

・執務室は現在、部や係ごとに島を構成するレイアウトとしているが、共用スペースや増員スペースとして有効活用が図ることができるユニバーサルレイアウトを考えていて、５％～10％の省スペース化が可能と考えている。

・議会の席の配置は、現在と同じ直列配置型や円形配置型などがある。直列配置型はスペース効率が良かったり、床をフラットにすることでいろいろな使い方ができる。円形配置型はお互いの顔が見えて、議場としての一体感が出るなどのメリットがある。

・床の形式も、フラットなものと段がついているものがある。フラットなものは災害時に避難場所として使うことができる。床に段がついていると利便性は失われるが、見通しが良くなり議会機能は上がる。登別市に合っているものを検討していく。

・新庁舎は、市民が気軽に訪れて集える場所として、市民活動を支援し、交流や集いを創出する協働のまちづくりの拠点して活用できる雰囲気づくりが求められていると考えている。集いの場の創出、コミュニティスペース、情報発信機能などについて検討する。

・市民ロビー、カフェテラス、展示コーナー、コミュニティホールなど、それぞれのまちがそのまちに合った市民スペースのあり方を考えているため、登別市のニーズに合った市民スペースの使い方を検討していく。そのときは市民の方、若手職員の意見も取り入れながら考えていきたい。

・来年度、中期財政見通しという市の財政を見通す計画の見直しを予定している。この中で他の大きな事業との兼ね合いを考え、今後の本庁舎のスケジュールをお示しする。消防庁舎が移転してからの着工になるため、少し時間が空くことになる。

【意見、質問について】

質問：消防庁舎が移転するのは何年後の話か。

回答：消防庁舎は、令和３年から５年まで、最短３年間で建設することになっているが、現場が始まってからどうなるのかという不確定な部分もある。

ただ、消防が移転する前から基本設計、実施設計に取り組むことは可能

であると考えている。

質問：中間「案」となっているが、まだパブリックコメントをしていないから案ということになっているのか。

回答：そうである。パブリックコメントではもう少し肉付けしたものを出す予定で、急いで作業を進めている。30～40Ｐ程度になると思う。

質問：パブリックコメントはどのように行うのか。

　回答：本庁舎、各支所などに計画案を配置して、意見等があれば意見を書いてもらう。HPにも掲載をして、意見はメールでも手紙でも、どのような方法でも受付をすることとしている。

意見：一般の人が見て意見を出せるわけがないと思っている。それでパブリックコメントというのか。

回答：パブリックコメントのやり方はなかなか難しいと思っている。１月はいろいろな団体のところへ出向いて説明をして、２月からパブリックコ

メントをやるからよろしくお願いしますと回って歩いた。

意見：30年６月のパブリックコメントのときも、いつやったのだという感じだった。

回答：30年のパブリックコメントの前も、全体会議等で市民自治推進委員会に話をする機会はあったと思う。

意見：なぜこの場所に決めたのかという具体的なことを書いてほしい。来庁者が来やすい場所といわれても、水のつくところだと言ったら、ちょっと待ってという人も多いと思う。

回答：パブリックコメントもやっているため、意見が一致したということになっている。

意見：ここで決まりましたよという話で、きっと意見を言えるような形ではなかったのだと思う。

意見：基本計画から基本設計までに時間が空くのでれば、３月に成案ではなく、もう少し丁寧にやっても良いのではないか。

回答：３月に基本計画を作り、基本設計に盛り込める意見をどんどんいただきたいと考えている。基本設計まで時間が空いてしまうということもあり、その間にできるだけ足を運んで話をしていこうと考えていた。

意見：基本計画が決まってから皆さんに説明をして、意見を聞いて、基本設計までに盛り込みましょうということであれば、それは納得する。

回答：恐らく６月か７月に市民自治推進委員会の全体会議を開くことになる。成案となった基本計画を改めて説明する場は設けたいと思っている。

質問：上階に災害対策本部と設備スペースを設けることとしているが、本当に本部を設置できるのか。どうやって人が集まるのか。

回答：閉庁している時間帯は、水が引かないと職員が本庁舎に来れない状態になると思う。そのような場合は、市民会館を仮設の本部として使うこととしている。市民会館は防災無線を遠隔で操作することができ、バックアップもある。本庁舎が使えるようになってから、移動して本部を立ち上げると考えている。

質問：なぜわざわざ水が付くところに新しく造るのか。ここではなくてはだめだという理由がわからない。

回答：構想の中で検討したとき、市民の利便性が大事だということに重きを置いた。

意見：他に良い場所がなかったというのであれば説得力もあるが、近くに陸上競技場がある。

回答：既存の市街地からの距離、坂の勾配、公共交通機関を検討して、この場所ということになった。

質問：４階建てで7，200㎡と計画しているが、今想定しているスペースは入るのか。

回答：現庁舎、第二庁舎、外局にある保健福祉部、観光経済部、教育部を集めると、大体6，800平米になる。最低限6，800平米あれば間に合うが、少しゆとりをもったり、災害対策の部分でスペースを取りたいと思っており、規模を現在よりも大きくすることを考えている。

意見：コミュニティスペースのことを考えると、スペースがあまりないのではないか。５階、６階建てにした方が良いのではないか。

回答：５階、６階も可能性がない訳ではない。配布した案では執務室以外のスペースが狭く見えるが、実際はもう少し広く取れると思っている。

意見：１階を駐車場にして、人がいるスペースは２階以上にすれば良い。

回答：１階をピロティにして２階から使うという検討も５階建て案の中であったが、窓口に来られた方に２階に上がっていただかなければいけないという問題もある。

意見：水害が多いから、危機管理という意味では当然である。これだけ災害が多いなら見ない振りはできない。

質問：パブリックコメントの結果の公表はあるのか。

回答：ある。意見の内容と意見に対する考え方がホームページに掲載される。

質問：広報には出ないのか。

回答：広報はパブリックコメントをする期間と、意見箱がどこに置いてあるかという情報だけ掲載され、結果はホームページで見てもらうことになっている。

質問：広報に出たら１番目に付くから、パブリックコメントをする前に広報にある程度の概要を載せることはできないのか。

回答：概要だけでもかなりのスペースをとってしまうため難しい。

【今後の進め方について】

・パブリックコメントを経て成案になったあとも、いろいろな団体を回り意見を伺う。市民自治推進委員会の会議や都市調和部会でも、成案の説明及び意見を伺う場を設ける。

・次の部会はパブリックコメントの期間内に実施し、肉付けされた部分の説明を聞く。その場で意見を聞くことで、パブリックコメントに意見を反映させることができる。

・次回は２月19日、20日、25日のいずれかの日程で開催をする。